

**平成26年度
事業実績報告書(案)**

平成27年5月

社会福祉法人

早島町社会福祉協議会

目 次

◆早島町社会福祉協議会 平成26年度事業総括 (P.1~5)

- ▶基本理念 (P.1)
- ▶経営理念 (P.1)
- ▶基本姿勢 (P.1)
- ▶社協・事務局重点項目 (重点目標) 及び達成度 (P.2)
- ▶介護事業部 セクション別重点項目 (重点目標) 及び達成度 (P.3~5)

◆平成26年度事業実績 (P.6~31)

- ▶活動内容 (P.6~)
 - I. 会務の運営
 - 1. 役職員による法人運営 (P.6~)
 - (1) 理事会・監事会・評議員会の開催
 - (2) 役員の先進地視察研修の実施
 - II. 地域福祉事業
 - 1. 広報事業活動 (P.9)
 - (1) 社協だよりの発行
 - (2) 早島の匠ミニギャラリー
 - 2. 会費・寄付・募金 (P.9~)
 - (1) 住民会員・会費の募集
 - (2) 一般寄付等の受納
 - (3) 共同募金運動 (赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金) の推進
 - 3. 地域福祉活動計画の策定 (P.11~)
 - (1) 福祉モデル地区の取り組み支援
 - (2) 策定委員会の運営
 - (3) 福祉課題対策部会の運営
 - 4. 福祉活動員活動の支援 (P.12~)
 - (1) 福祉活動員協議会活動の支援
 - (2) 福祉活動員育成に向けた支援
 - 5. 地区福祉活動の推進 (P.13~)
 - (1) 高齢者給食サービス活動の推進

- (2) ふれあい・いきいきサロン活動の推進
- (3) 夏季一斉友愛訪問活動の実施
- (4) 年末大掃除おたすけサービスの実施
- (5) 地区福祉活動の支援

6. 福祉啓発（教育）の推進（P.16～）

- (1) 夏のボランティア体験事業の実施
- (2) 福祉教育への協力支援
- (3) コミュニケーション麻雀の普及推進
- (4) 障がい者作品展の開催
- (5) 福祉映画会の開催

7. ボランティア活動の推進（P.19～）

- (1) ボランティア活動保険の斡旋
- (2) 福祉ボランティアグループ活動の支援
- (3) ボランティア活動に関する相談・調整

8. 福祉団体活動の支援（P.21）

- (1) 福祉当事者団体
- (2) 福祉団体活動の支援

9. 在宅介護支援事業（P.21～）

- (1) 介護職員初任者研修の開催
- (2) 介護用具貸出サービスの実施

10. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助（P.23）

- (1) 生活福祉資金貸付事業の実施
- (2) 日常生活自立支援事業の実施

11. 地域福祉センターの運営管理（P.24）

- (1) 施設の利用促進
- (2) 備品・用具貸出

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業（P.24～）

- (1) 居宅介護支援事業の実施

2. 通所介護事業（P.25～）

- (1) 通所介護事業の実施
- (2) 介護予防通所介護の実施
- (3) ボランティア協力（受入）の実施

3. 訪問介護事業 (P.28~)

- (1) 訪問介護事業の実施
- (2) 介護予防訪問介護の実施
- (3) 障がい者総合支援（居宅介護）事業の実施
- (4) 障がい者移動支援（外出支援）事業の実施
- (5) 生活支援訪問事業の実施
- (6) 介護保険外サービス事業の実施

▶補足／各種地域福祉事業の財源

1. 共同募金

◇一般配分金

- ❖社協だより発行 (P.9)
- ❖福祉活動員協議会活動の支援 (P.12)
- ❖福祉活動員育成に向けた支援 (P.12)
- ❖夏のボランティア体験事業 (P.16)
- ❖福祉ボランティアグループ活動支援 (P.19)

◇特別配分金

- ❖福祉モデル地区の取り組み支援 (P.11)
- ❖地区福祉活動の支援 (P.16)
- ❖コミュニケーション麻雀の普及推進 (P.18)

◇歳末たすけあい配分金

- ❖社協だより発行 (P.9)
- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.14)
- ❖夏季一斉友愛訪問活動 (P.15)
- ❖年末大掃除おたすけサービス (P.16)
- ❖福祉啓発事業 (P.19)
- ❖福祉当事者団体活動の支援 (P.21)

2. ほほえみ基金

- ❖社協だより発行 (P.9)
- ❖早島の匠・ミニギャラリー (P.9)
- ❖福祉活動員連絡協議会活動の支援 (P.12)
- ❖ふれあい・いきいきサロン活動の推進 (P.14)
- ❖福祉当事者団体活動の支援 (P.21)

3. 地域福祉活動基金

- ❖地域福祉活動計画の策定 (P.11)

早島町社会福祉協議会 平成26年度事業総括

▶本会の基本理念

お互いが支えあい 安心して 幸せに暮らせる 住みよい地域をつくります

▶本会の経営理念

本会役職員は、基本理念に則り地域福祉事業の推進と介護保険事業の充実・発展を図るとともに、安定した法人運営に心がけてまいります。

▶本会の基本姿勢

本会は、地域福祉事業と介護保険事業を中心とした法人運営を行っています。

地域福祉事業の基本的な考え方といたしましては、住民主体の原則を堅持し、住民の方が住み慣れた地域で安心して生活ができる具体的かつ背伸びせず着実に推進（実行）可能な計画づくりを構築していくことが必要であると考えており、平成25年度から平成26年度にかけて地域福祉事業の羅針盤となります地域福祉活動計画を策定し、以降、この計画に沿った事業を実践してまいります。

また、介護保険事業では、平成26年度に介護保険法の一部改正が行われ、平成27年度を初年度とした新たな介護保険制度が適用されることとなっており、本会にとってもますます厳しさを増してくるものと思われませんが、限りある財源のなかで工夫を凝らし利用者本位に立った良質で特色を持った介護サービスの提供に心がけてまいります。

この両事業を推進するにあたり、職員の日々の人材育成は勿論のこと、各人が自主財源の確保と効率的な予算執行といった経営感覚を身に付け、無駄を排除した安定的な法人運営に心がけることを最重点事項といたします。

(平成26年度事業計画書より抜粋)

■ 社協・事務局重点項目（重点目標）及び達成度

事務局重点項目（重点目標）	達成度
<p>1) 地域福祉活動計画の策定 同計画策定委員会を設置し、福祉のまちづくりに向けた住民参画による同計画作づくりを推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年度から引き続き、部会での課題対策の方向性の議論や福祉活動モデル地区での活動の実践検証を継続し、住民参画を得ながら活動計画の立案を行った。 • 策定委員会でも引き続き活動計画素案や基本理念、愛称等を協議し、計画案を作成。策定委員会の答申を得て、今年1月にパブリックコメントを実施して活動計画を策定完了した。 <p style="text-align: right;">(A)</p>
<p>2) 新会計基準の導入に向けた準備 社会福祉法人の会計基準の改定に伴い、次年度へ向けて円滑な移行準備を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 県社協の研修会への参加やコンサルティング会社の協力助言を得ながら、経理規程や経理規程細則等の必要規程類の作成を行い理事会・評議員会へ提出し承認を得た。 • 承認を得た、経理規程に基づき次年度の予算書の作成を行った。 • 新会計基準に対応したシステムの導入を行い、3月に操作説明を受け、次年度当初から新システムで経理処理を行える体制を整えた。 <p style="text-align: right;">(A)</p>

<達成度基準>

S：100%以上 A：80～99% B：60～70% C：40～59% D：20～39% E：0～19%

■介護事業部 セクション別重点項目（重点目標）及び達成度

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
居宅介護支援	<p>1) 医療・介護・福祉との連携強化 利用者のよりよい在宅生活の継続へ向け、介護分野のみならず、医療関係者及び地域福祉関係者と介護支援専門員の連携強化を計画的に遂行する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係者との連携については、外部医療機関の研修への参加や地域包括支援センターが主催する町内における医療・看護・介護の連携を推進する検討へ加わった。また、医療連携を進める独自シートを作成し、すべての利用者の情報を再整理し、主治医や医療関係者へ積極的な情報提供を行った。 地域のサロン活動の見学や福祉活動員との顔合わせ、関係者や地域との会議や研修への参加等により、地域の社会資源の情報共有や資源活用の意識付けを行った。(A)
	<p>2) 信頼ある事業所運営に向けた体制整備 不安定であった介護支援専門員の人員体制を整えるとともに、定型的の見直しとルール化による運営体制の改善を行う。また、本人ご家族の意向に沿った援助を行う為の基礎調査を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人員体制については、補充した新任職員の育成に努め、複数の主任介護支援専門員の取得配置により安定化し、新規利用者の受入を再開できた。 年間を通じ、類似書類の統一化や機能改善による事務効率化や業務運用ルールの明確化等の業務改善を行った。 煩雑な書類作成漏れ防止の為の記録チェック（3期分割）の徹底や利用者及び家族への調査による業務評価の実施等、ケアマネジメント業務や援助の点検と振り返りに努めた。(A)
	<p><運営状況総括></p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度比で、新規契約件数が33件増加したが契約解除件数も同様に23件増え、入院を繰り返される方も多く、月平均請求件数は12件減少した。 契約解除件数は、前年度より23件増の55件。内30件が入所、20件が永眠。他は入院と軽度化（要支援）。 人員体制不足や引継ぎにかかる新規受入中止期間（3ヶ月）と、特定事業所加算分（3,000円/件）が算定できない期間（10ヶ月分）があったことで、前年度に比べ大減収となった。 <p>∴収支差引額：▲2,519千円</p>	

<達成度基準>

S：100%以上 A：80～99% B：60～79% C：40～59% D：20～39% E：0～19%

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
デイサービスセンター	1) 利用者の満足度を向上と安定した運営 近隣店舗や施設を有効利用したプログラム提供とポイントカードや保険外の日帰り旅行を継続すると共に、旅行に参加出来ない利用者の方が参加できる企画を実施する。 また、写真やデイだよりを使ってデイでの様子が見える形にして伝えることで、利用者には満足を、家族には安心感を持っていただき、安定した運営に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> 旅行は、利用者29名、家族7名の参加があり、前年度とほぼ同数であった。旅行に参加出来なかった方に対しては近場へ紅葉見物に出掛けた。また館内で楽しむ事が出来るように、作品と写真の展示会を開催した。 活動の様子を写真で伝えた事に対しては、『デイの様子がわかって良い』や『家での話題に出来る』など好評価の回答が全体の9割強を占めたものの、年末からの入院や年始のインフルエンザの蔓延、7-9時間の利用者の減少が要因となり収入が減少し、安定した運営には繋がらなかった。 <p style="text-align: right;">(B)</p>
	2) 行動評価シートを有効活用 行動評価シートを基に、目標管理シートを作成し、職員自ら、資質の向上に努める。また、『介護技術』と『接客態度』については2ヶ月ごとに重点事項を決めて、全職員で取り組み、サービスの標準化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 個人目標とデイ全体での目標の2本立てで、資質の向上に努めた。全体目標の中には、全員が徹底できるようになった事もあったが、年度末に実施したアンケートで『対応の仕方が人によって違う』といった回答が複数名あり、質の向上については今後も継続した取り組みが必要な結果となった。 <p style="text-align: right;">(B)</p>
	<運営状況総括> <ul style="list-style-type: none"> 要介護と予防をあわせた1日あたりの利用者数は29.3人であり、1日平均30人を下回った。 全体に対する要介護の利用者の割合の減少と7-9時間の利用者の割合の減少が、減収の要因となっている。 ∴収支差引額：10,838千円	

<達成度基準>

S：100%以上 A：80～99% B：60～79% C：40～59% D：20～39% E：0～19%

	介護事業部重点項目（重点目標）	達成度
ホームヘルパーステーション	1) 在宅サービスの充実と信頼関係の構築 利用者の特性を踏まえて柔軟かつ継続的な対応が出来るよう支援する。アンケート調査によるニーズの把握を行い、利用者の満足度アップに繋いでいく。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症状のある方が全利用者の約3割を占めており、地域の方々や関係機関との連携もとりながら支援を行った。しかしながら、認知症の方への援助は一人ひとり対応が異なり、良い援助に繋がったかどうか疑問が残った。 介護外サービスを提案し柔軟な対応をした。 アンケート調査は今年も年末に行った。殆どの方から満足との評価を頂いた。その中でも直接聞き取りが必要と判断した方には訪問し要望や意見など聞き、改善できるところは即実行した。(B)
	2) 職員の質の向上と専門性の強化 人事管理制度を有効活用した資質の向上と、内部・外部の研修に積極的に参加し、質の高い適切な個別の援助が出来るよう専門性を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> 登録ヘルパーも含めて人事管理制度の行動評価にて自己分析を行った。 介護技術の習得の為の内部研修には積極的に参加があったが、外部研修には声掛けを行ったものの参加に繋がらなかった。(B)
	<運営状況総括> <ul style="list-style-type: none"> • 昨年比で要介護者の利用延べ利用者数が29人の増にもかかわらず、訪問回数532回の減少。 • 介護保険外サービス事業の定期的な利用があった。 ∴収支差引額：▲53千円	

<達成度基準>

S：100%以上 A：80～99% B：60～79% C：40～59% D：20～39% E：0～19%

◆平成26年度事業実績

I. 会務の運営

1. 役職員による法人運営

〔1〕理事会・監事会・評議員会

(1) 要件

- ・地域福祉の推進を目的に、本会の定款に基づき理事会6回、監事会1回、評議員会4回を開催した。
- ・役員・評議員と地域福関係者による先進地の視察研修を実施するなど、本会が行う事業の充実強化を図る為の参考材料とした。

(2) 実施結果

◇理事会

開催日／出席数	決議事項
平成26年 4月 1日 (火) ／理事8名 (9名) ／書面決議書提出者 1名 ／監事2名 (2名)	◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会会長の選任について
平成26年 5月28日 (水) ／理事8名 (9名) ／書面決議書提出者 1名 ／監事2名 (2名)	◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員の補充選任について ◇平成25年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業実績報告について ◇平成25年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会収支決算報告について ◇報告事項 ・夏のボランティア体験事業について ・介護職員初任者研修について
平成26年 9月24日 (水) ／理事7名 (9名) ／書面決議書提出者 2名 ／監事2名 (2名)	◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員の補充選任について ◇早島町社会福祉協議会理事・評議員選任規程及び内規の一部改正 (案) について ◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会第1次補正予算 (案) について ◇報告事項 ・社会福祉法人早島町社会福祉協議会職員給与規程内規及び嘱託職員賃金規程内規 (案) について ・地域福祉活動計画策定の進捗状況について ・夏のボランティア体験事業について

<p>平成26年12月17日(水) /理事9名(10名) /書面決議書提出者1名 /監事0名(2名)</p>	<p>◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会評議員の選任について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会経理規程の改正(案)について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会資金運用規程の制定(案)について ◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会第2次補正予算(案)について ◇報告事項 ・地域福祉活動計画の答申について ・介護職員初任者研修実施結果について ・住民福祉活動先進地視察研修実施結果について ・共同募金運動の実施状況について ・歳末たすけあい事業の実施状況について ・基金の運用について</p>
<p>平成27年 2月 3日(火) /理事9名(10名) /委任状提出者1名 /監事2名(2名)</p>	<p>◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会会長の選任について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会副会長の選任について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会会長・副会長の職務代理について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会常務理事の指名について ◇報告事項 ・基金の運用について</p>
<p>平成27年 3月25日(水) /理事10名(10名) /監事 2名(2名)</p>	<p>◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会第3次補正予算(案)について ◇平成27年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業計画(案)について ◇平成27年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会当初予算(案)について ◇報告事項 ・共同募金実績報告について ・介護職員初任者研修について ・基金の運用について ・社会福祉法人早島町社会福祉協議会常務理事の指名の事前承認について</p>

◇監事会

- ・開催日：平成26年5月20日(火) /監事2名出席
- ・内 容：平成25年度事業実績状況(報告書)及び決算(書)及び諸帳票の監査
 ※指摘事項は、特になし

◇評議員会

開催日/出席数	決 議 事 項
<p>平成26年 5月29日(木) /評議員14名(21名) /監事2名(2名)</p>	<p>◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会理事の補充選任について ◇平成25年度早島町社会福祉協議会事業実績報告について ◇平成25年度早島町社会福祉協議会収支決算について ◇報告事項 ・夏のボランティア体験事業について ・介護職員初任者研修について</p>
<p>平成26年 9月26日(金) /13名(21名)</p>	<p>◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会理事の補充選任について ◇早島町社会福祉協議会理事・評議員選任規程及び内規の一部改正(案)について</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会第1次補正予算（案）について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動計画策定の進捗状況について ・夏のボランティア体験事業について ・共同募金運動計画について
平成27年 1月21日（水） /15名（21名）	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会理事・監事の選任について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会経理規程の改正（案）について ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会資金運用規程の制定（案）について ◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会第2次補正予算（案）について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・早島町地域福祉活動計画書（案）について ・介護職員初任者研修実施結果について ・住民福祉活動先進地視察研修実施結果について
平成27年 3月27日（金） /13名（21名）	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会福祉法人早島町社会福祉協議会理事の補充選任について ◇平成26年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会第3次補正予算（案）について ◇平成27年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会事業計画（案）について ◇平成27年度社会福祉法人早島町社会福祉協議会当初予算（案）について ◇報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・共同募金実績報告について ・介護職員初任者研修について ・コミュニケーション麻雀について

〔2〕 役員の先進地視察研修

（1）要件

- ・他市町村の住民主体の地区福祉活動先進地を視察し、本町における地区福祉活動のあり方を検討する機会とするため、住民福祉関係者と合同で先進地社協（笠岡市）へ視察研修を行った。

（2）実施結果

視察日程／参加者	視察先／主な研修項目
平成26年11月 6日（木） [参加者] <ul style="list-style-type: none"> ・理事： 3名 ・評議員： 6名 ・その他： 59名 合計：68名	笠岡市社会福祉協議会 ◇『地区社協』活動について <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協内の部会設置について ・地区社協の取り組みについて 子ども劇場笠岡センター ◇『ふれあい・たすけ愛サービス』について <ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容について

Ⅱ. 地域福祉事業

1. 広報事業活動

〔1〕社協だより発行

(1) 要件

- ・町民に対する社協活動や住民福祉活動等の情報提供手段として、広報誌「はやしま社協だより」を年4回発行（前年度3回から発行回数増）。

(2) 発行実績

- ◇第93号（夏号）平成26年 6月下旬発行（5,000部）
- ◇第94号（秋号）平成26年 9月下旬発行（5,000部）
- ◇第95号（新春号）平成26年12月下旬発行（5,000部）
- ◇第96号（春号）平成27年 3月下旬発行（5,000部）

〔2〕早島の匠ミニギャラリー

(1) 要件

- ・地域福祉センター（オアシス早島）1階ロビーを活用し、町内住民やグループによるミニ作品展を開催し、一般住民の来館促進を図り、センター機能の周知を行う。

(2) 開催実績

◇個人

ジャンル	テーマ	作者（出展者）	作品展示期間
絵画	油絵	山根 昭彦	平成26年 8月 4日～ 9月 3日
写真	早島町の四季	渡邊 旭	10月14日～11月10日
写真	景色 他	船越 真澄	平成26年11月12日～11月27日

◇団体

- 早写会 平成26年 5月31日～ 6月30日
- 障がい者作品展 平成26年12月 1日～12月18日
- 舟本自治会コミュニケーションクラブ 平成27年 2月 2日～ 3月 2日
- デイサービスセンター利用者作品展 平成27年 3月23日～ 4月11日

2. 会費・寄付・募金

〔1〕住民会員・会費の募集

(1) 要件

- ・社会福祉に関心を有し、本会の趣旨に賛同した個人又は団体等の会員を募るものである。しかしながら、積極的な広報を行うことができなかったため、下記の結果となった。

(2) 実施結果

区分	会員数	□数	金額
賛助会費・個人（一口1,000円）	1人	1□	1,000円
合計	1人	1□	1,000円

〔2〕一般寄付等の受納

(1) 要件

- ・一般寄付・満中陰志を受納し、ほほえみ基金事業の原資として基金積立てを行った。

(2) 寄付金実績

区 分	件 数	金 額
一般寄付	6件	159,314円
満中陰志	21件	505,000円
合 計	27件	664,314円

〔3〕共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）の推進

（※岡山県共同募金会早島町共同募金委員会事務）

(1) 要件

- ・地域福祉の推進を目的に、募金活動を通じて、「思いやりの心」を掘り起こすとともに、共同募金の適正かつ効果的な助成を行う。「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、共同募金の役割や使い道の周知を図り、多くの地域住民の方々の理解や参加を促すため街頭募金活動やイベント行事等を実施した。

(2) 実施結果

①赤い羽根共同募金実績：1,549,876円（前年度比：99,983円減）

募金種別	募金額内訳
戸別募金	1,090,066円
街頭募金	4,420円
学校募金	36,999円
個人募金	13,000円
法人募金	258,772円
イベント募金	13,002円
職域募金	107,935円
その他の募金	25,589円
通帳利息	93円

②歳末たすけあい募金実績：970,300円（前年度比：12,182円減）

募金種別	募金額
戸別募金	957,905円
個人募金	6,000円
その他の募金	6,370円
通帳利息	25円

③共同募金運動推進活動

<街頭募金活動>

- ・平成26年 9月19日（金）／早島中学校 （募金実績 9,342円）
- ・平成26年10月 1日（水）／早島駅前 （募金実績 3,895円）
- ・平成26年11月 2日（日）／早島町中央公民館 （募金実績 525円）

※早島中学校街頭募金は、上記（2）では学校募金へ計上。

<イベント募金活動（いきいき広場）>

- ・平成26年11月 2日（日）／早島町中央公民館 （募金実績13,002円）

3. 地域福祉活動計画の策定

〔1〕福祉モデル地区の取り組み支援

(1) 要件

- ・自治会単位の福祉活動推進のあり方の模索を目的に、町内で平均的な人口・世帯規模である片田地区を昨年度にモデル地区指定。
- ・昨年度同地区で行った福祉活動に関するアンケート調査結果に基づき、年間に渡り福祉活動の検討を行い、交流行事を中心とした地区活動の活性化を図った。

(2) 活動実績

- ・救急医療情報キットの設置推進（4月）
- ・地区福祉活動検討会（毎月1回）
- ・夏休み子どもサロンの開催（7～8月）
- ・新年もちつき会の開催（2月）

〔2〕策定委員会の設置運営

(1) 要件

- ・地域住民や社会福祉に関する活動を行う者（委員16名）及び専門家（顧問3名）による協議体組織を設置。
- ・活動計画策定に向け、活動計画骨子や具体的内容、基本理念や愛称の協議等を行った。

(2) 実施結果

開催日	主な内容事項
平成26年 7月29日(火)	◇協議事項等 ・課題分析部会協議結果について ・課題対策部会協議結果について ・福祉モデル地区活動実施状況について ・早島町地域福祉活動計画の計画骨子（構成案）について ・今後の活動計画策定スケジュールについて
平成26年10月 6日(月)	◇協議事項等 ・早島町地域福祉活動計画の方向性（案）について ・早島町地域福祉活動計画の実施計画（案）について
平成26年10月30日(木)	◇協議事項等 ・早島町地域福祉活動計画の方向性（案）について ・早島町地域福祉活動計画の実施計画（案）について ・早島町地域福祉活動計画の愛称・基本理念・スローガンについて
平成26年11月20日(木)	◇協議事項等 ・早島町地域福祉活動計画＝原案＝について ・パブリックコメントの実施について

〔3〕福祉課題分析・対策部会の運営

(1) 要件

- ・福祉関係団体・機関ヒアリング記入調査から抽出された123項目の基本課題を基に、昨年度分析を行った課題への対策の方向性を協議した。
- ・各分野別課題対策部会は、関係福祉団体代表者と福祉機関及び行政担当者で行った。

(2) 開催実績

	開催年月日	部会名(内容)	参加者数
第1回	平成26年 6月18日(水)	生活支援部会(課題対策)	16名
第2回	平成26年 6月19日(木)	社会参加部会(課題対策)	15名
第3回	平成26年 6月20日(金)	福祉教育・啓発部会(課題対策)	5名

4. 福祉活動員活動の支援

〔1〕福祉活動員協議会活動の支援

(1) 要件

- 各自治会町内会から選出された「福祉活動員」79名で組織する「福祉活動員協議会」の事務局として、福祉活動員の活動支援を行った。
- 定例会を全体研修月以外に7回開催。各地区の福祉活動員の活動状況確認や見守り新鮮情報の回覧依頼、ボランティア活動への協力呼びかけを行った。また、援助活動に役立つ福祉知識や手法の提供を目的としたミニ講座を引き続き開催した。
- 県や他市町村社協と協働で、福祉委員(福祉活動員)のPR用DVDを作成した。

(2) 定例会開催実績(ミニ講座名等)

第1回	平成26年 4月24日(木)	総会/活動計画・予算の確認、役員の選任、社会福祉協議会の組織活動と福祉活動員の役割
第2回	平成26年 6月26日(木)	成年後見制度について
第3回	平成26年 7月24日(木)	高齢者の福祉制度と社会資源について
第4回	平成26年 9月18日(木)	身近な介護技術
第5回	平成26年12月18日(木)	コミュニケーション麻雀体験
第6回	平成27年 1月22日(木)	認知症の基礎知識(認知症林 [®] ト養成研修)
第7回	平成27年 3月19日(木)	次年度活動計画の協議等

〔2〕福祉活動員育成に向けた支援

(1) 要件

- 民生委員と協力した要援護者の見守り活動が継続できるよう、その把握や訪問援助活動の機会を設けた。
- 研修は、地区福祉活動の活性化を目的に、見守り対象者の立場や想いを汲んだ支援ができるよう当事者の理解や視点に着目する各種研修を行った。
- 更なる活動の活性化に向け、県内の福祉活動先進地視察研修による県内の他市町の実践活動事例の学習を行った。

(2) 福祉活動員全体関連研修・実践活動

研修・事業名/参加者	研修・実活動等内容(テーマ)	場所/講師等
平成26年 5月26日(月) ◇定例会 ・福祉活動員 61名 ・民生委員 22名	◇行政説明・民生委員との意見交換 ・地域福祉活動計画の策定説明 ・夏季一斉友愛訪問活動実施計画 ・福祉マップの作成	役場2階会議室/ 福祉課
平成26年 8月28日(木) ◇第1回全体研修会 ・福祉活動員 53名	◇全体研修 ・講義「高齢者の特性理解とコミュニケーション力」 ・演習「自己覚知の大切さを振り返る」	オアシス早島/ 中国短期大学・ 寺山節子氏

平成26年10月 9日(木) ◇交流会 ・福祉活動員 42名 ・民生委員 11名	◇全体交流会 ・「グラウンドゴルフを体験しよう」	矢尾グラウンド ゴルフ場
平成26年11月 6日(木) ◇第2回全体(視察)研修会 ・福祉活動員 38名 ・その他 30名	◇視察研修会 ・笠岡市社会福祉協議会 地区社会福祉協議会の活動について	サンライフ笠岡/ 福)笠岡社会福祉 協議会・認N)笠 岡子ども劇場
平成26年12月1日(月) ~12日(金) ◇年末大掃除おたすけ サービス ・福祉活動員 25名 ・民生委員 7名 ・社協職員 7名 ・登録ヘルパー 1名 ・その他 9名	◇高齢者・身体障がい者世帯にかかる 年末大掃除の助け合い活動実践 ◇75歳以上の高齢者世帯と年齢問わず 障がい者世帯の年末大掃除の手伝い ※詳細別項	町内高齢者・ 身体障がい者世帯
平成27年 2月26日(木) ◇第3回全体研修会 ・福祉活動員 39名	◇全体研修 ・「いざという時の救急法」 ※普通救命講習修了証発行	オアシス早島/ 早島BLS

5. 地区福祉活動の推進

〔1〕高齢者給食サービス活動の推進

(1) 要件

- ・食事の準備などに苦勞しているひとり暮らし高齢者等を対象として、給食ボランティアグループがバランスのとれた食事とふれあい交流の場を提供。
- ・食材費等の助成や、活動を支援するためのアドバイスを行う。
- ・倉敷保健所の協力を得て、食品衛生管理指導(研修、チェック表の運用、衛生用品の支給)を継続して行う。

(2) 活動実績

団体名	利用者数	提供者数	延実施回数	延利用者数	延提供者数
クローバー	12	5	21	205	87
コスモス	24	12	22	455	233
スプリング	25	11	20	433	205
たんぽぽ	21	8	10	146	81
マスカット	17	6	11	142	63
ひまわり会	28	11	11	280	119
スマイル若宮	29	32	22	530	246
市場撫子の会	26	9	11	249	89
合計：8団体	182	94	128	2,440	1,123

(3) 連絡会等開催実績

◇第1回連絡会

連絡会名	給食ボランティア連絡協議会(食品衛生研修)
開催年月日	平成26年 9月11日(木)

開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	24名（8グループ）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「食中毒の予防と衛生面の注意」 備中県民局 衛生課食品衛生班 山口 寛正 氏、原田 卓郎 氏 ・意見交換・事務連絡（助成金手続き、衛生用品の配布等について説明）

◇第2回連絡会

連絡会名	給食ボランティア連絡協議会（食品衛生研修会）
開催年月日	平成27年 3月 9日（月）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	17名（7グループ）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「食の安全情報・ノロウイルス感染拡大を防ぐには」 備中県民局 衛生課食品衛生班 山口 寛正 氏、原田 卓郎 氏 ・事務連絡（助成金手続き、衛生用品の配布等について説明）

※その他、平成26年11月28日（金）に備中県民局が主催する「早島ハローズデリカセンターの視察研修」に20名（7グループ）が参加。

〔2〕ふれあい・いきいきサロン活動の推進

（1）要 件

- ・他者との交流が少なく、家に閉じこもりがちな高齢者等の不安や悩みの解消を図り、気軽にふれあい交流や仲間づくりができる場を提供する活動の支援を行う。
- ・毎月1回開催の場合は2万円/年、隔月開催の場合は1万円/年、奨励金を交付。交付要綱に基づき、17団体に奨励金の交付を行い、活動助言を行う。

（1）サロン活動団体（合計17団体）

サロン名	開催場所	対象地域	延べ利用者数	延べ協力者数	実施回数	活動内容
四つ葉会前湯	前湯公民館	前湯・下前湯	94	130	12	茶話会、季節行事、創作活動、イベント、講話
しゃべろうかい	宮崎公民館	宮崎	128	24	12	茶話会、運動、創作活動
中山ふれあいサロンさつき会	中山公民館	中山	76	38	10	茶話会、運動、創作活動、季節行事、催し
いきいきサロン市場	さつき荘	市場	205	101	11	茶話会、遊び、運動、講話、創作活動、催し等
弁才天井戸端喫茶	弁才天公民館	弁才天	102	73	10	茶話会、遊び、季節行事、創作活動、運動
サロン・ひだまり	備南台公民館	備南台	420	186	72	茶話会、季節行事、遊び、小旅行、部会活動等
なしず会	無津公民館	無津	133	8	11	茶話会、季節行事、講話、運動、奉仕活動
はまぎくの会	個人宅	若宮	27	40	10	茶話会、イベント、創作活動、小旅行
日笠山さくら会	日笠山公民館	日笠山	220	50	6	茶話会、季節行事、催し

喫茶とよく	頓行公民館	頓行	147	63	11	茶話会、遊び、運動、季節行事、催し等
いきいきサロン三軒地	三軒地公民館	三軒地	115	23	12	茶話会、創作活動、講話、イベント等
塩津いきいきサロン	塩津公民館	塩津	365	71	11	季節行事、創作活動、イベント
サロン若わか会	大谷荘	若宮	108	42	21	茶話会、運動、創作活動、講話
サロン市場健康促進の会	床田遊園、市場公民館	市場	116	51	14	茶話会、運動、講話、遊び
いきいきサロン久々原	久々原公民館	久々原	88	17	6	茶話会、季節行事、講話、創作活動
片田ふれあいサロン	片田公民館	片田	85	27	6	遊び、講話、催し
喜楽亭	大谷荘	若宮	578	235	10	遊び、運動、講話、軽食喫茶、催し
合計 / 延べ利用者数 3,007人 / 延べ協力者数 1,179人 / 実施回数 245回						

(3) 連絡会（研修会）開催実績

連絡会名	ふれあいいきいきサロン研修会
開催年月日	平成27年 2月13日（金）
開催場所	地域福祉センター「オアシス早島」2階会議室
参加者	23名（14グループ）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶とよく（頓行地区）の活動について（発表） 喫茶とよく 代表 王田 政子 氏 ・活動課題と対応策の検討（グループワーク）
その他	・奨励金申請・報告手続き説明等

(4) 奨励金交付実績

310,000円（17団体）

〔3〕夏季一斉友愛訪問活動の実施

(1) 要件

- ・70歳以上の方が居住する世帯及び年齢や同居の有無を問わず声かけが必要な要援護者を対象に、熱中症予防啓発と地域との関係づくりを目的に、民生委員・福祉活動員の協力を得て、全地区一斉の友愛訪問を行う。

(2) 活動実績

◇訪問実施期間

平成26年5月下旬から6月中旬

◇訪問対象者

70歳以上の方：2,220人／28地区

〔4〕年末大掃除おたすけサービスの実施

(1) 要件

- ・75歳以上の高齢者世帯の方、または障がい者世帯の方へおたすけ員を派遣し、年末大掃除の負担軽減を図った。おたすけ員としては、民生委員・福祉活動員・地域のボランティアなど多くの住民の方々に広く協力を求めた。

(2) 活動実績

開催年月日	平成26年12月 1日（月）から12月12日（金）
サービス実施世帯数	30世帯（高齢者世帯25件、障がい者5件）
おたすけ員協力者数	49名
おたすけ員協力者内訳	民生委員7名、福祉活動員25名、とんかち4名、ボランティア5名、社協登録HP1名、社協職員7名

〔5〕地区福祉活動の支援

(1) 要件

- ・地区会合へ参加し、地区住民協働で自治会単位での福祉活動の活性化やあり方を検討した。また、その福祉活動の検討や活動に対し、助成（上限10万円）を行った。

(2) 活動実績（2地区）

①片田自治会

- ・救急医療情報キットの設置推進（4月）
- ・地区福祉活動検討会（毎月1回）
- ・夏休み子どもサロンの開催（7～8月）
- ・新年もちつき会の開催（2月）

※〔1〕福祉モデル地区の取り組み支援（片田自治会）参照

②若宮自治会

- ・地区福祉活動委員会（毎月1回）
- ・友愛訪問活動の実施（2月）
- ・三世代交流もちつき会（1月）
- ・福祉講演会の開催（3月）

6. 福祉啓発（教育）の推進

〔1〕夏のボランティア体験事業

(1) 要件

- ・学生（中学・高校・大学等）や地域住民の方を対象に、町内の福祉（教育）施設やボランティア団体の方々に、体験希望者の受入れの協力をいただき実施。体験終了後に、体験の振り返りを目的とした事後研修会を実施した。

(2) 実施結果

①事前説明会

開催年月日	平成26年 7月 5日（土）
開催場所	早島中学校体育館
内 容	①福祉の仕事について（講話、DVD上映） （福）敬仁会特別養護老人ホーム白亜館 生活相談員 黒木俊則 氏 （福）クムレ生活介護事業所コトノハ サブマネジャー 上村昌平 氏 ②ボランティア体験における心構え・注意事項の説明
参加者	214名 ＜参加者内訳＞ 体験希望者184名、受入施設・団体関係者18名、中学校職員7名、社協職員5名

②ボランティア体験期間

体験期間	平成26年7月19日（土）から8月31日（日） ※夏季休暇期間
受入団体	16機関・団体（実受入：14機関・団体数）
協力団体	<p><福祉（教育）施設> 計9機関 早島幼稚園／早島保育園／かんだ保育園／早島児童館／早島町地域活動支援センター／早島町デイサービスセンター／特別養護老人ホーム白亜館／早島町生涯学習課／早島支援学校／</p> <p><ボランティア団体> 計7団体 パソボラはやしま／はやしま朗読ボランティア福来朗／ぞうさんクラブ／はやしま本だいすきの会／早島いぐさ手話サークル／早島要約筆記サークル‘ぺんしる’／はやしま夏祭り実行委員会</p>
体験者数	201名 <体験者内訳> 中学生139名、高校60名、大学生1名、一般1名
体験案内校	11校 <中学校> 早島中学校（計1校） <高等学校> 岡山県立倉敷天城高等学校、岡山県立青陵高等学校、岡山県立倉敷中央高等学校、岡山県立倉敷南高等学校、岡山県立倉敷商業高等学校、私立倉敷翠松高等学校、私立倉敷高等学校、私立ノートルダム清心学園・清心女子高等学校（計8校） <短期大学・大学> 川崎医療福祉大学、中国学園大学・中国短期大学（計2校）

③事後研修会

開催年月日	平成26年8月21日（木）
開催場所	早島町中央公民館
内容	体験の振り返り（グループワーク）
参加者	143名 <参加者内訳> 体験者133名、受入施設・団体関係者4名、中学校職員1名、社協職員5名

〔2〕福祉教育への協力支援

(1) 要件

- ・早島小学校から要請を受け、早島支援学校生徒との交流に向け、その導入として4年生を対象に体験教室を実施した。

(2) 実施結果

開催年月日	平成26年6月23日（月）
開催場所	早島小学校体育館
内容	車イスの基本操作の説明や体験、当事者の方のお話
参加者	134名 <参加者内訳> 小学4年生125名、身体障がい者福祉協会役員2名、小学校教員4名、社協職員3名

〔3〕コミュニケーション麻雀普及事業

(1) 要件

- ・ 多人数が楽しめ仲間づくりや介護予防活動に役立つ『コミュニケーション麻雀』の普及と新たな地域活動参加者（普及員）発掘を目的に月2回『コミュニケーション麻雀を楽しむ会』（23回・224名参加）を開催した。
- ・ 参加者の固定化、新規参加者の減少あり、PRチラシを作成し広報折込により活動の普及啓発に努めた。
- ・ 依頼のあった団体（5団体・87名参加）へ普及員の派遣を行った。
- ・ 倉敷市で活動されている『コミコミ麻雀を広める会』との交流し情報交換を行った。

(2) 実施結果

	普及行事名等	参加者数	備考
4月	楽しむ会（2回）	19名	
5月	楽しむ会（2回）	18名	
6月	楽しむ会（2回）	24名	
	介護者の会	15名	町内の団体
7月	楽しむ会（2回）	26名	
8月	楽しむ会（2回）	19名	
9月	楽しむ会（2回）	25名	
	ニュー早島いつわ会	12名	地区老人クラブ
10月	楽しむ会（2回）	20名	
11月	楽しむ会（2回）	17名	
12月	楽しむ会（2回）	13名	
	早島町福祉活動員協議会	33名	
1月	楽しむ会（2回）	14名	
	市場健康促進の会	12名	ふれあいいきいきサロン
2月	楽しむ会（1回）	11名	
	早島町身体障がい者福祉協会	15名	町内の福祉当事者団体
	コミュニケーション麻雀交流会	32名	倉敷市の普及団体
3月	楽しむ会（2回）	18名	

〔5〕障がい者作品展

(1) 要件

- ・ 国が定める「障害者週間（12月3日～9日）」に合わせ、障がい者の方の作品展を開催し、町民に対し、障がい者福祉への理解を深めていただく機会とした。

(2) 実施結果

開催年月日	平成26年12月1日（月）から12月18日（木）
開催場所	早島町地域福祉センター1階ロビー
主催	早島町社会福祉協議会
共催	早島町身体障がい者福祉協会、早島つばさの会、ほのぼの会
出展者数	38名（42作品）

〔6〕福祉映画会

(1) 要件

- ・住民協働での個別ケアや福祉活動の活性化へ向けた機運をより高めていく機会として、福祉や介護・医療等の幅広い関連分野をテーマとした映画会を開催した。

(2) 実施結果

開催年月日	平成27年1月31日(土)
開催場所	早島町町民総合会館「ゆるびの舎」文化ホール
主催	早島町社会福祉協議会
共催	早島町
協力団体	早島いぐさ手話サークル、はやしま朗読ボランティア福来朗、早島要約筆記サークル‘ぺんしる’、パソボラはやしま、絵手紙ボランティアやまびこ、日曜大工ボランティアとんかち、ぞうさんクラブ、給食ボランティア(クローバー・コスモス・スプリング・たんぽぽ・マスカット・ひまわり会・スマイル若宮・市場撫子の会)、早島町民生児童委員協議会、早島町福祉活動員協議会、特定非営利活動法人 ふれあいネットはやしま、早島町婦人会、早島町保護司会、早島町更生保護女性会
映画名	「いのちの山河」(まちづくり・地域包括医療)
観客数	402名(入場整理券391枚、当日発行整理券11枚) アンケート回収数(324名)

7. ボランティア活動の推進

〔1〕ボランティア活動保険

(1) 要件

- ・ボランティア活動をする方が安心して活動できるよう、事故やけが、賠償責任などについて補償するボランティア活動保険(実施主体：全国社会福祉協議会、受付窓口：市町村社協)の加入促進を図る。

(2) 加入者数計：661名

◇団体加入：465名(24団体)

◇個人加入：196名 ※夏のボランティア体験活動者数を含む。

〔2〕福祉ボランティアグループ活動の支援

(1) 要件

- ・福祉ボランティア団体への活動支援と活動費助成を行った。
- ・助成金は、通常の活動費と活動に必要なと認められる備品の助成を行った。

(2) 実施結果

◆活動助成額合計：170,500円(6団体)

①パソボラはやしま、②早島要約筆記サークル‘ぺんしる’、③早島いぐさ手話サークル、④はやしま朗読ボランティア福来朗、⑤絵手紙ボランティアやまびこ、⑥日曜大工ボランティアとんかち

◆備品助成額合計：20,000円(1団体)

早島要約筆記サークル‘ぺんしる’

◆福祉教育助成額合計：3,000円(1団体)

早島いぐさ手話サークル

【3】ボランティア活動に関する相談・調整

(1) 要件

- ・町内の在宅生活者やボランティア団体、各種機関や組織、団体から要請を受け、年間を通じて、福祉ボランティア等の人材調整を行う。

(2) 調整件数

○個人相談（個人の生活を支援する人材の協力要請）

相談者	依頼事項等	調整内容	調整件数 (延べ活動者数)
高齢者・障がい者世帯	家屋の軽微な修繕	日曜大工ボランティアの派遣調整	24件 (45人)
高齢者・障がい者世帯	移送サービス	運転ボランティアの派遣調整	7件 (13名)
学生	町内高齢者施設でのボランティア活動を希望	町内高齢者施設のボランティア活動先を案内	1件 (1人)
合 計			32件 (59人)

○団体相談（団体や組織活動を支援する人材の協力要請）

相談元（団体）	行事名、依頼事項等	調整内容	調整件数 (延べ活動者数)
早島小学校	授業への協力 (出前車いす体験)	指導及び車いす使用者の参加要請	1件 (5人)
早島中学校	授業への協力 (手話講座)	手話通訳ボランティアの派遣調整	1件 (6人)
早島支援学校	授業への協力	朗読ボランティアの派遣調整	1件 (77人)
南岡山医療センター	つくし病棟での本の読み聞かせ	朗読ボランティアの派遣調整	1件 (58人)
各地区サロン活動グループ	通常活動のプログラム 企画協力	ボランティアの派遣調整	21件 (44人)
地区老人クラブ	通常活動のプログラム 企画協力	ボランティアの派遣調整	2件 (2人)
地区愛育委員	通常活動のプログラム 企画協力	ボランティアの派遣調整	1件 (1人)
地区給食ボランティア グループ	団体名簿の作成協力	団体名簿の作成	1件
	通常活動のプログラム 企画協力	ボランティアの派遣調整	1件 (1人)
福祉当事者グループ	講座企画運営協力 (出前車いす・介助体験)	企画運営調整及び講師派遣	1件 (3人)
	通常活動のプログラム 企画協力	ボランティアの派遣調整	2件 (3人)
合 計			33件 (200人)

※本会デイサービスセンターが、直接ボランティア調整をした件数は除く。

※本会デイサービスセンターの受入ボランティア数は、通所介護事業（P.27）参照。

8. 福祉団体活動の支援

〔1〕福祉当事者団体の支援

(1) 要件

- ・当事者団体へ活動支援と活動費助成を行った。

(2) 実施結果

◆活動助成額合計：408,304円（3団体）

- ①早島町身体障がい者福祉協会、②早島つばさの会（知的障がい者の親の会）、③ブロンズクラブ（独居高齢者の会）

◆福祉教育助成額合計：3,000円（1団体）

- ①早島町身体障がい者福祉協会

〔2〕福祉団体の支援

(1) 要件

- ・福祉団体への活動支援と活動費助成を行った。

(2) 実施結果

◆活動助成額合計：172,000円（2団体）

- ①早島保護司会、②早島町更生保護女性会

9. 在宅介護支援事業

〔1〕介護職員初任者研修の開催

(1) 要件

- ・高齢者の多様化するニーズに対応した質の高い在宅介護を推進するため、町民一人ひとりが介護に必要な知識と技能を習得し、地域福祉の担い手を養成するため、町内在住・在勤者を対象に、「岡山県訪問介護員養成研修指定要綱」による介護職員初任者研修のカリキュラムに基づき、通信制により実施した。

(2) 研修期間

平成26年 6月 1日（日）～ 10月12日（日）／研修時間数130時間

開催日	内容	時間
平成26年 6月 1日（日）	受付・開講式	※1時間
	多様なサービスの理解 介護職の仕事内容や働く現場の理解	6時間
6月 8日（日）	人間と尊厳を支える介護 自立に向けた介護	1.5時間
	介護職の役割、専門生と他職種との連携 介護職の職業倫理	3時間
	介護における安全の確保とリスクマネジメント 介護職の安全	
	介護保険制度 医療との連携とリハビリテーション	
	障がい者自立支援制度およびその他制度 老化に伴うこころとからだの変化と日常 高齢者と健康	3時間
6月15日（日）	障がい者の基礎的理解 障がいの医学的側面、生活障がい・心理・行動の特徴、かか	1.5時間

	わり支援等の基礎的理解 家族の心理、かかわり支援の理解	
6月22日(日)	介護におけるコミュニケーション 介護におけるチームのコミュニケーション	3時間
	認知症を取り巻く状況 医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 家族への支援	3時間
6月29日(日)	介護の基本的な考え方 介護に関するこころのしくみと基礎的理解	7時間
	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
7月6日(日)	移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
7月13日(日)	快適な居住環境整備と介護	7時間
7月20日(日)	整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
7月27日(日)	入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
8月3日(日)	排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
8月10日(日)	生活と食事 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	7時間
8月17日(日)	死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護 介護課程の基礎的理解	7時間
8月24日(日)	総合生活支援技術演習(実技テスト)	7時間
8月25日(月) から 9月26日(金)	施設実習	4時間
9月20日(土)	自主学習	※3時間
9月28日(日)	筆記試験	※1時間
10月12日(日)	修了式、意見交換会	※2時間
合 計		89.5時間

※上記以外に、自宅通信学習40.5時間(レポート数15本)。

※「※」の時間数については、要綱に規定する研修時間数に含まない。

(3) 実習先

早島町デイサービスセンター、早島町ホームヘルパーステーション

(4) 委託先

NPO法人ウェル福祉学習センター

(5) 修了者数

9名 ※内町内在住・在勤4名、町外5名

〔2〕介護用具貸出サービスの実施

(1) 要件

- ・介護が必要な状態にある方への介護用具の貸し出しを行う。介護認定を受け、介護保険サービス内で利用できる方は、対象外としている。

- 例年どおり旅行、一時的な外出、受診目的での車イスの短期貸出が多かった。また、段差解消の為の簡易スロープや病院や施設からの一時帰宅時のポータブルトイレの貸与があった。

(2) 利用実績

介護用具名	貸出件数
車いす短期（1週間以内）	76件
車いす	0件
スロープ	7件
ポータブルトイレ	6件

10. 福祉相談及び福祉サービスの利用援助

〔1〕生活福祉資金貸付

(1) 要件

- 低所得者世帯の経済的自立や身体障がい者世帯の生活意欲の助長促進及び、在宅福祉、社会参加の促進のために必要な資金を貸付けるために、生活福祉資金貸付事務（実施主体：岡山県社会福祉協議会、受付窓口：市町村社協）を行った。

(2) 対応実績

貸付資金種類	相談件数	新規貸付	貸付中	償還中
総合支援資金	3	0	0	2
福祉資金	2	0	0	0
教育支援資金	0	0	0	1
不動産担保型生活資金	0	0	0	0
※旧・離職者支援資金	-	-	-	1
合計	5	0	0	4

（平成27年3月31日現在）

〔2〕日常生活自立支援事業

(1) 要件

- 在宅で生活しており、自分の判断で福祉サービスの利用や日常的な金銭管理を適切に行うことが困難な方をサポートする本事業（実施主体：岡山県社会福祉協議会）の相談業務を行った。

(2) 対応実績

援助区分	相談件数	新規契約	継続援助中	契約解除
認知症高齢者	0	0	0	1

（平成27年3月31日現在）

1 1. 地域福祉センターの運営管理

〔1〕施設利用

(1) 要件

- ・町内の地域福祉活動拠点として、福祉関係者を中心にセンター内の施設（4部屋、開放フロア）の貸し出しと管理運営を行った。

(2) 団体利用実績

施設名	利用回数/年	利用人数/年	平均利用人数/回
ボランティア室	101回	637人	6.3人
調理実習室	47回	772人	16.4人
会議室	124回	2,940人	23.7人
プレイルーム	109回	1,370人	12.6人
開放フロア	25回	174人	7.0人

(3) 個人利用実績（プレイルームのみ）

◆延べ利用者数：778人（小学生のみ）

※平成27年1月中旬から3月の間、小学校でインフルエンザ流行の為、開放中止。

〔2〕備品・用具貸出

(1) 要件

- ・町内の地域福祉活動の活性化のため、福祉活動に役立つ備品・用具の貸し出しを行った。

(2) 利用実績

援助区分	合計	福祉関係団体	行政関係団体
レクリエーション用具	16	15	1
機材	19	10	9
その他	10	0	10

Ⅲ. 介護サービス事業

1. 居宅介護支援事業

〔1〕居宅介護支援事業の実施

(1) 要件

- ・利用契約を結んだ要介護状態の方に対し、ご本人やご家族の意思を尊重しながら、介護・保健・医療・福祉サービスを適切に利用することができるよう、個別の居宅サービス計画の作成や事業者等との調整を行った。
- ・サービス利用以外の時間帯にもできるだけ安心した在宅生活が過ごせるよう、介護保険制度以外にも行政専門職や民生委員・福祉活動員、住民のたすけあい活動との連携を図った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規契約利用者：69件（前年度比+33件）
- ◆年間契約解除利用者：54件（前年度比+22件）
- ◆月間平均請求件数：189件（前年度比▲12件）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	件数	収入(円)
4月	184	2,065,680
5月	188	2,105,390
6月	191	2,136,490
7月	188	2,114,360
8月	187	2,108,810
9月	189	2,144,940
10月	190	2,167,040
11月	187	2,161,430
12月	190	2,153,450
1月	185	2,122,240
2月	195	2,833,760
3月	195	2,817,260
合計	2,269	26,930,850

2. 通所介護事業

〔1〕通所介護事業の実施

(1) 要件

- ・通所介護サービスの利用により、介護が必要な高齢者の身心の機能の悪化を防止するとともに、利用者が以前と変わらず自宅で生活でき、趣味活動や人との交流のある生活を維持できるよう支援する。
- ・介護をしている家族の心身の負担を軽減する。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：12人（前年度比 +1人）
- ◆年間延べ利用者数：7,825人（前年度比 ▲448人）

(3) 利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収入(円)
4月	26	56	656	25.2	5,269,250
5月	27	57	682	25.2	5,465,194
6月	25	60	670	26.8	5,469,070
7月	27	59	688	25.4	5,861,970
8月	26	59	689	26.5	5,912,830
9月	26	58	669	25.7	5,767,891
10月	27	59	659	24.4	5,571,230
11月	25	60	662	26.4	5,568,109
12月	24	60	632	26.3	5,315,230
1月	24	56	547	22.7	4,482,100
2月	24	60	607	25.2	4,955,410
3月	26	57	664	25.5	5,468,497
合計	307	701	7,825	25.4	65,106,781

※1日平均人数は、小数点第2位以下切捨て。

〔2〕介護予防通所介護事業の実施

(1) 要件

- ・介護予防通所介護サービスの利用により、要介護状態になることを予防し、心身ともに自立した生活を維持できるよう支援する。
- ・高齢者を支える家族の生活を支援する。

(1) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：5人（前年度比+1人）
- ◆年間延べ利用者数：1,190人（前年度比+188人）

(2) 利用状況及び収入の推移（要支援1～2の利用者）

サービス月	開所日数	実利用者数	延利用者数	1日平均利用者数	収入（円）
4月	26	16	114	4.3	617,840
5月	27	17	119	4.4	639,880
6月	25	19	121	4.8	713,330
7月	27	17	126	4.6	633,540
8月	26	15	100	3.8	586,050
9月	26	16	113	4.3	610,380
10月	27	16	105	3.8	610,380
11月	25	14	84	3.3	517,500
12月	24	13	75	3.1	493,170
1月	24	13	67	2.7	448,950
2月	24	14	77	3.2	495,390
3月	26	14	89	3.4	517,500
合計	307	184	1,190	3.8	6,883,910

〔3〕ボランティア協力（受入）

(1) 要件

- ・演芸ボランティアを始め、季節行事や日常的プログラム支援としてボランティア受け入れをし、デイサービスで過ごす時間の充実を図る。
- ・ボランティア受入により、住民と利用者との交流の場としての役割を担う。

(2) 実施結果

団体での新規協力は1団体あった。個人では、高齢者施設での就労を目標にボランティアで経験を積みたいという希望者の受け入れを行った。

◇ボランティア来館数

月	プログラム提供		行事補助（延べ人数）
	個人活動	団体数	
4月	5人	2団体	花見（2人）
5月	1人	5団体	
6月	1人	5団体	
7月	5人	4団体	夏祭り（12人）
8月	2人	5団体	

9月	3人	6団体	
10月	2人	4団体	日帰旅行(4人)
11月	3人	3団体	
12月	4人	7団体	
1月	0人	3団体	
2月	1人	8団体	餅つき(13人)
3月	1人	3団体	
合計	28人	55団体	(31人)

◇個人ボランティアの活動内容(有償の活動は除く)

活動内容	活動人数
碁の相手	1名
アコーディオン演奏	1名
化粧ボランティア	1名と補助
写真撮影	1名
ダンス披露	4名
カラオケ	2名
レクリエーション補助	1名
季節のイベント補助・利用者の付き添い	複数名

◇団体ボランティアの活動内容(有償の活動団体は除く)

団体名	活動内容(今年度活動回数)
絵手紙ボランティアやまびこ	絵手紙教室の開催(5回)
木の実会	子供との交流(1回)
コーラスフルール	コーラス(1回)
じゃがいもの会	踊りと歌(1回)
心光寺アロハフラ	フラダンス(1回)
多聞会	餅つき大会の物品借用(1回)
ダンディボーイズと歌姫たち	コーラス(1回)
つくば商工会婦人部	ヘアセットとメイク(1回)
とんかち	餅つき補助(4日間)
早島オカリナ倶楽部	オカリナ演奏(1回)
早島鬼面作りの会	節分に鬼装束で来館(1回)
早島日本舞踊子供教室	踊り(1回)
早島保育園	園児との交流 七夕会(1回)
フラ・さつき	フラダンス(2回)
邦楽集団 彩響	三味線と和太鼓演奏(1回)
ほのぼの会	踊りと歌(4回)
本だい好きの会	朗読会(1回)
ねねの会	三味線演奏と歌(1回)
野の花の会	創作(2回)
舞民踊同好会	踊りと歌(2回)
マンドリン◎	楽器演奏(1回)
要約筆記サークルペンしる	OHPを使った俳句の紹介(12回)

朗読ボランティアふくろう	対面朗読（9回） 朗読会（1回） 行事補助（1回）
若竹会	踊り（1回）
童太鼓	太鼓演奏（1回）

※◎は新規協力団体

3. 訪問介護事業

〔1〕訪問介護事業の実施

（1）要件

- ・要介護状態になっても、利用者の方の望む暮らしができるよう、訪問により心身の状況に応じた身体介護（入浴、排泄、食事の援助等）や生活援助（調理、掃除、買い物等）、日常生活全般の援助を行った。

（2）利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：21件（昨年度比+4件）
- ◆年間延べ利用者数：533人（昨年度比+29人）
- ◆年間延べ訪問回数：6,115回（昨年比▲534回）

（3）利用状況及び収入の推移（要介護1～5の利用者）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入（円）
4月	42	472	475.00	1,454,130
5月	42	503	496.00	1,519,280
6月	44	490	491.50	1,547,310
7月	42	514	521.00	1,591,540
8月	42	485	480.50	1,604,560
9月	43	508	508.77	1,641,820
10月	46	567	569.00	1,761,890
11月	46	521	523.00	1,620,190
12月	46	500	502.76	1,580,780
1月	45	497	490.50	1,550,560
2月	46	499	494.18	1,576,570
3月	49	559	538.62	1,657,280
合計	533	6,115	6,090.83	19,105,910

〔2〕介護予防訪問介護事業の実施

（1）要件

- ・要支援状態になっても、生活機能の低下や重度化を防ぎ、自分らしい生活が実現できるように支援を行う。

（2）利用者状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：11件（昨年度比+5件）
- ◆年間延べ利用者数：303人（昨年度比▲12人）
- ◆年間延べ訪問回数：1,939回（昨年度比▲138回）

(3) 利用状況及び収入の推移（要支援1～2の利用者）

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入(円)
4月	23	163	145.25	518,680
5月	27	174	155.75	652,780
6月	28	185	167.50	631,320
7月	26	175	159.00	546,380
8月	23	150	135.00	488,900
9月	23	152	137.00	480,310
10月	25	172	156.50	516,480
11月	26	153	139.00	505,810
12月	25	151	136.75	501,650
1月	26	153	137.50	526,050
2月	25	147	134.50	503,730
3月	26	164	150.75	518,560
合計	303	1,939	1,754.50	6,390,650

〔3〕 障がい者総合支援居宅介護事業の実施

(1) 要件

- ・総合支援法の趣旨に沿って住み慣れた地域で安心して自立した日常生活ができるよう障害の特性・心身の状態に配慮しながら身体介護・家事援助・通院介助など日常生活全般の援助を行った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：1件（昨年度比+1件）
- ◆年間延べ利用者数：36人（昨年度比▲4人）
- ◆年間延べ訪問回数：792回（昨年度比+126回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間(時間)					収入(円)
			身体	知的	精神	児童	合計	
4月	3	56	16.0	39.5	33.0		88.5	191,610
5月	3	74	16.0	48.0	36.0		100.0	222,510
6月	3	70	20.5	46.0	37.5		104.0	222,160
7月	3	76	28.5	48.0	35.0		111.5	235,700
8月	3	68	22.5	46.0	34.5		103.0	223,120
9月	3	47	23.5	50.0			73.5	180,910
10月	3	68	17.5	58.5			77.0	193,000
11月	3	65	19.0	59.0			78.0	195,290
12月	3	64	18.5	53.0			71.5	173,540
1月	3	64	18.5	54.0			72.5	192,520
2月	3	64	17.5	55.0			72.5	195,320
3月	3	76	20.0	61.0			81.0	219,790
合計	36	792	238.0	618.0	176.0		1033.0	2,445,470

〔4〕障がい者移動支援事業（外出支援）の実施

（1）要件

- ・総合支援法の趣旨に沿って住み慣れた地域で自分らしく生活するために、安全に外出できるよう障害の特性・心身の状態に配慮しながら移動（外出）支援を行った。

（2）利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：2人（昨年度比2人）
- ◆年間延べ利用者数：56人（昨年度比+9人）
- ◆年間延べ訪問回数：371回（昨年度比+105回）

（3）利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間（時間）					収入（円）
			身体	知的	精神	児童	合計	
4月	4	30	45.0	0	0	0	45.0	78,500
5月	4	32	45.5	0	0	0	45.5	83,250
6月	4	25	32.5	0	0	0	32.5	58,750
7月	4	25	27.0	0	0	0	27.0	61,500
8月	4	16	24.0	0	0	0	24.0	46,000
9月	4	28	36.0	0	0	0	36.0	66,000
10月	6	40	59.0	8.0	0	0	67.0	119,000
11月	5	36	35.0	10.0	0	0	45.0	78,500
12月	5	32	29.0	10.0	0	0	39.0	64,500
1月	5	31	28.0	8.0	0	0	36.0	62,000
2月	5	36	33.5	11.0	0	0	44.5	77,750
3月	6	40	37.0	13.0	0	0	50.0	84,250
合計	56	371	431.5	60.0	0	0	491.5	880,000

〔5〕生活支援訪問事業の実施

（1）要件

- ・生活支援を必要とし、役場より生活支援サービス決定された方に、安心して日常生活を営む事が出来るようにその方に必要に家事援助を行った。

（2）利用者状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：1件（昨年度比+1件）
- ◆年間延べ利用者数：10人（昨年度比+2人）
- ◆年間延べ訪問回数：36回（昨年度比+2回）

（3）利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収入（円）
4月	1	3	3.0	4,500
5月	0	0	0.0	0
6月	0	0	0.0	0
7月	1	2	2.0	3,000
8月	1	2	2.0	3,000
9月	1	4	4.0	6,000
10月	1	5	5.0	7,500
11月	1	4	4.0	6,000

12月	1	4	4.0	6,000
1月	1	4	4.0	6,000
2月	1	4	4.0	6,000
3月	1	4	4.0	6,000
合 計	10	36	36.0	54,000

〔6〕介護保険外サービス事業の実施

(1) 要件

- ・介護保険制度対象外の有償の訪問介護。介護保険制度適用外で、日常生活に援助が必要とする方に、介護保険制度を同様のサービス（家事援助、身体介護）に加え、制度では行えないサービス（見守りを兼ねた話し相手等）を行い、安心して日常生活を営む事が出来るよう援助を行った。

(2) 利用状況等実施結果

- ◆年間新規利用者：12件（昨年度比+6件）
- ◆年間延べ利用者数：45人（昨年度比+25人）
- ◆年間延べ訪問回数：120回（昨年度比+17回）

(3) 利用状況及び収入の推移

サービス月	実利用者数	訪問回数	訪問時間	収 入 (円)
4月	4	20	14.5	40,340
5月	5	34	22.5	65,672
6月	6	6	7.5	19,559
7月	4	4	2.0	5,192
8月	2	5	4.5	12,166
9月	5	10	12.0	35,145
10月	5	9	9.5	28,236
11月	3	8	6.0	16,060
12月	3	6	7.0	20,014
1月	4	7	6.5	19,090
2月	2	5	4.5	12,166
3月	2	6	5.5	14,883
合 計	45	120	102.0	288,523